



佐倉市市長、副市長
真剣に見つめる江戸後
期の内裏雛

CATV296 の取材を受
ける常務理事

ひな祭り特集

春風が心地よい頃となりました。昨日、菜の花色の列車、いすみ鉄道で菜の花と桜の花で春を満喫してきました。



佐倉市シルバー人材センターのひな祭りを終えて一ヶ月が経とうとしていますが会員の皆様にはご協力ありがとうございました。おかげ様で多くの方々にご来場いただき、盛会のうちに終了することができました。今回は三日間と致しましたので来場者も去年の倍以上の実に約二五〇名の方々にご来場いただきました。



可愛い来場者
お雛様も負けちゃいそう♥
私たちは未来の会員、と喜んで
お迎えました

去年と違い、日数を増やしたことと共にあらゆるところでの広報活動の成果だと思っております。会員の皆様はもちろんのこと各公共施設へのポスターチラシ配布や各メディアにもCATV296をはじめ地域新聞、スタッフ、千葉日報、北総よみうり、こうほう佐倉等に連絡しました。その成果もあつて来場者の半分以上は会員以外の方でした。



(北総よみうり二月二十四日版)

百歳雛 (ももとせひな)
皆さん 百歳雛という言葉ご存じですか？ 女性部会のメンバーが調べてくれました。ひな祭りは桃の節句とも言われております。女の子の健やかな成長を祝っての行事の一つですが、それと(百歳)まで生きられるよう女性の邪気を払う日でもあるそうです。桃には魔除けの効果があるといわれるそうです。百歳雛(ももとせひな) 素敵ですね。 シルバー人材センターでもこの百歳雛が飾られる日が来るといいですね。

女性部会だより(シルボンヌさくら)に、掲載してほしいアイデアがございましたら、どうぞお気軽に申し付けくださいませ。女性部会で検討し、ご期待に沿えるよう頑張ります。
問い合わせ先(輝くシルボンヌ推薦先) 掲載申し込み先; Tel 043-486-5482 (三橋)
メール t.mitsubishi@sakura-sjc.or.jp

公益社団 佐倉市シルバー人材センター
043-486-5482 FAX: 043-486-5419



会員以外の来場者の皆さんにはひな祭り展をどこから知り得たかを伺いましたところ「こうほう佐倉を見てくださいました」「よみうりで見ました」「佐倉市役所のライオンで見ました」「シルバーのホームページで見ました」「公民館のチラシを見てきました」等々言われるたびに情報の大きさ、そして情報が必要を痛切に感じました。会員の皆さん一人ひとりの呼びかけからメディアという大きなところからの呼びかけそれが拡大につながっていくのだと分かりました。そしてこれが私たちのひな祭りを開催した目的の一つシルバー人材センターの認知度を高めるに繋がっていくのだと。

また来場者の皆さんの会話を聞くたびにこのひな祭り展が有意義なものとして感じています。展示されている内裏雛は昨年展示したもの、また新しく佐倉市民の皆さんからお借りしたのや頂いたものです。また新しく私たち委員で作成したものと少しでも楽しんでいただけるようにと工夫いたしました。高齢者である私たちの中でのひな祭りをやるのは皆さんたちのひな祭りを思い出し、そして語り合うという回顧できる場でもあってほしいと思えました。





階段を上がっていくと
まずは竹の小窓から小
さな内裏雛のご挨拶



入口の前では手描きの屏風絵、手
作りの市松人形 そして生け花で
お出迎えます。



今年は兎年、手作りの兎の内裏雛
そして その内裏雛のワインラ
ベル (もちろん手作り)



中央に並ぶ絢爛豪華な内裏雛の勢ぞろい。それぞれの顔がきれいで見事でした



左 明治時代のお雛様 中央 大正時代のお雛様 右 大正時代の木目込み人形



明治時代のお雛様、当時、明治時代戦争中は 質素儉約で小さい内裏雛だったと、一人の来場者の
方が話してくださいました。でも見事な段飾りでした。当時の写真もお借りしました。



江戸後期の内裏雛と冠 来場者の方々も
興味津々でご覧いただきました。 佐倉市
民の方からお借りました。



わずか2cm弱の一刀彫の
内裏雛 ↓



大正時代の陶器で作られた小さな内裏雛、これをご覧になっ
た方が同じものをお母さまから受け継ぎそれが大正
時代のものとわかって来場してよかったと言われてました。



この木目込み人形も私たちに寄贈してくださいました。 ひな人形に詳しい方が
これは 米州作で素晴らしい人形ですよと教えてくださいました。 愛らし
い顔で一目で気に入りました。